

令和4年4月13日

「旧黄牛邑主高屋家と旧柳津邑主布施家の由来と功績」 看板の除幕式の開催について

登米市津山町柳津は明治維新以前、仙台藩家臣の邑主高屋家と布施家が治めていました。

旧黄牛邑主高屋家は、仙台藩の藩医で江戸時代末期に蝦夷地警護のためクナシリやエトロフの警備隊に同行している。明治維新後、高屋家は地域で医療に尽くし、肝臓ジストマの解明に尽力した。その後、子孫は教育長や町長などを歴任し、北上川改修事業や柳津大橋架け替えなど地方自治に貢献しました。

また、旧柳津邑主布施家の初代布施備後守は、伊達晴宗、輝宗、政宗の三代に仕え、天正十三年の人取橋の合戦で嫡子とともに討ち死にしました。その後、布施家は代々文武に優れ武頭や奉行職など仙台藩の役職を歴任し、元禄11年に永代着座、享保8年に柳津の邑主となり明治維新まで約150年間続きました。明治維新後、子孫は地元で教職や戸長などを勤め、その後、洋画家になっている。

この高屋家の子孫は、仙台市に、布施家の子孫は千葉県柏市に在住しており、現在は旧家臣の子孫の一部と交流を持つのみとなり、年々高齢化と世代交代により難しい状況となっている。

そのため、両家に関する場所に、その由来と功績の看板を設置し、地域の歴史を広く住民に知ってもらい、地域づくりに役立てるため令和3年度登米市ががんばる応援交付金を活用し整備しました。

つきましては、今回高屋家、布施家の子孫の方や旧家臣の方々にご臨席を賜り、下記のとおり除幕式を実施しますので、お知らせいたします。

記

◎「旧黄牛邑主高屋家の由来と功績」看板除幕式

- 1 開催日時 令和4年4月18日（月）午前10時30分から午前11時まで
- 2 開催場所 登米市津山町柳津字黄牛宇名地内（入沢旧高屋家敷地）

◎「旧柳津邑主布施家の由来と功績」看板除幕式

- 1 開催日時 令和4年4月18日（月）午後1時30分から午後2時まで
- 2 開催場所 登米市津山町柳津字平形地内（国道45号線福田寺入口付近）

〔問い合わせ先〕
津山公民館（津山地域振興会）
館長 佐藤 貞光
TEL：0225-69-2234